

2021年11月29日
損害保険ジャパン株式会社

金沢市との『持続可能な次世代型交通システム連携協定』の締結について

損害保険ジャパン株式会社（取締役社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン」）は、AI・IoT等の新技術を活かした次世代交通システムを活用し、金沢市の郊外部等における移動の利便性向上を図ることで、健康で活力のある持続可能な地域づくりを実現するため、一般社団法人北陸 SDGs 総合研究所（代表理事：武田 幸男）と共に「次世代型交通システム推進協議会」を設立し、金沢市（市長：山野 之義）と『持続可能な次世代型交通システム連携協定』を11月29日に締結したことをお知らせします。

1. 背景・経緯

- ・金沢市は、人口減少や超高齢社会の進展のなか、AI・IoT等の新技術を活かした次世代交通システムを活用し、公共交通が不便な地域などにおける移動の利便性向上を図ることを健康で活力のある持続可能な地域づくりを目指しています。
- ・損保ジャパンは、お客さまの安心・安全・健康な暮らしを支える保険会社として、地域の産業の安定的な繁栄と安心な暮らしを支援するノウハウを生かし、市民サービスの向上と地域の活性化に貢献するため、一般社団法人北陸 SDGs 総合研究所と共に、金沢市内の有志団体・企業による連携の場として「次世代型交通システム推進協議会」を設立し、金沢市に連携協定についての提案を実施し、このたびの協定締結に至ったものです。

2. 協定の目的

損保ジャパンと金沢市は、郊外部等における移動の利便性向上を図り、健康で活力のある持続可能な地域づくりに積極的に取り組んでまいります。

3. 協定の主な内容

- （1）市内各地域の実情に応じた次世代交通システムの活用方法の検討及び実装に関すること
 - ①交通におけるAI・IoT等の新技術の推進
 - ②その他次世代交通システムを活かした取組の推進
- （2）その他、相互が協議し合意する事項

4. 今後について

損保ジャパンは、今後も金沢市と連携し、郊外部等の公共交通の不便な地域において、AI・IoT等の新技術を活かした次世代交通システムの導入に向けた課題や効果の整理、地域づくりに向けた関係者との連携を行い、企業コーディネートなどを担いながら、健康で活力のある持続可能な地域づくりに必要な対応の実施をおこなってまいります。

以上